

上関町では、平成18年度より小中連携、小中一貫教育による9年間を見通しての学校教育を推進してきました。時代の変化、今後の学校規模を見越し、今までの小中一貫教育の取組を一段進めることとなりました。

本紙では、どのような取組を行っていくのか主に図示したものを元に紹介いたします。細かいことについては、別紙「小中一貫教育にかかるQ&A」で掲載していますので、そちらもご参照ください。

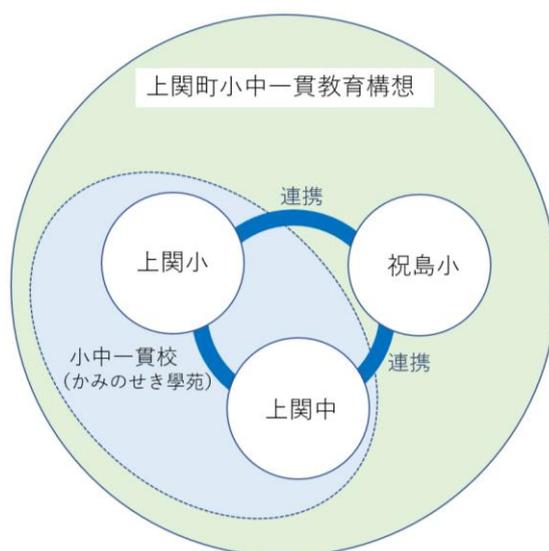
1 上関町の小中一貫教育体制

令和4年度から、上関小学校と上関中学校を小中一貫校「かみのせき學苑」として、小中学校9年間をひとくくりとして小中一貫教育をさらに充実させていきます。

右図は、上関町の小中一貫教育の体制を図で表したものです。

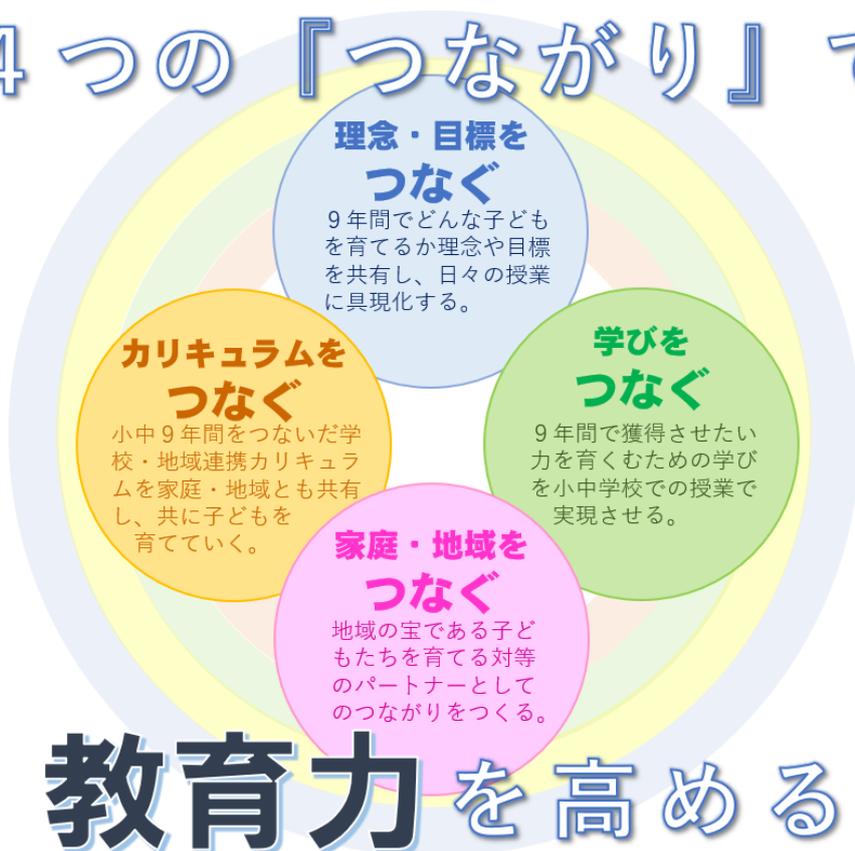
来年度から再開校する祝島小学校を含めて、町内3校が連携をとります。

上関小学校と上関中学校は、「かみのせき學苑」として9年間を一貫した教育を行っていきます。



2 小中一貫教育で大切にしたい4つの「つながり」

4つの「つながり」で

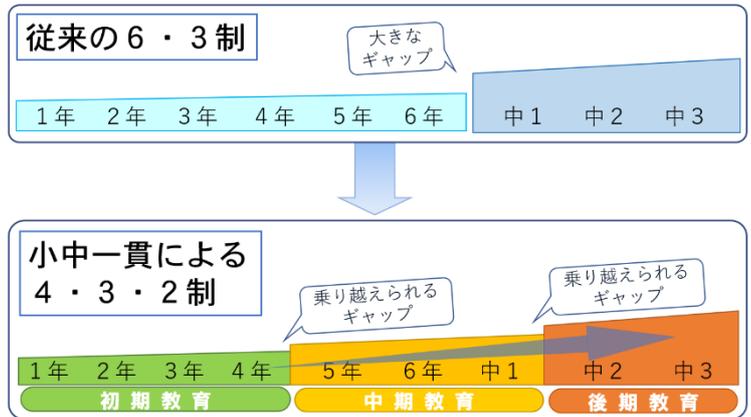


理念・目標、カリキュラム、学び、家庭・地域の4つをつなぐことで、今までよりもよい教育環境をめざします。小中学校を小中一貫校として1つの組織にすることで、今までよりも踏み込んだ「つながり」の実現をめざします。

教育力を高める

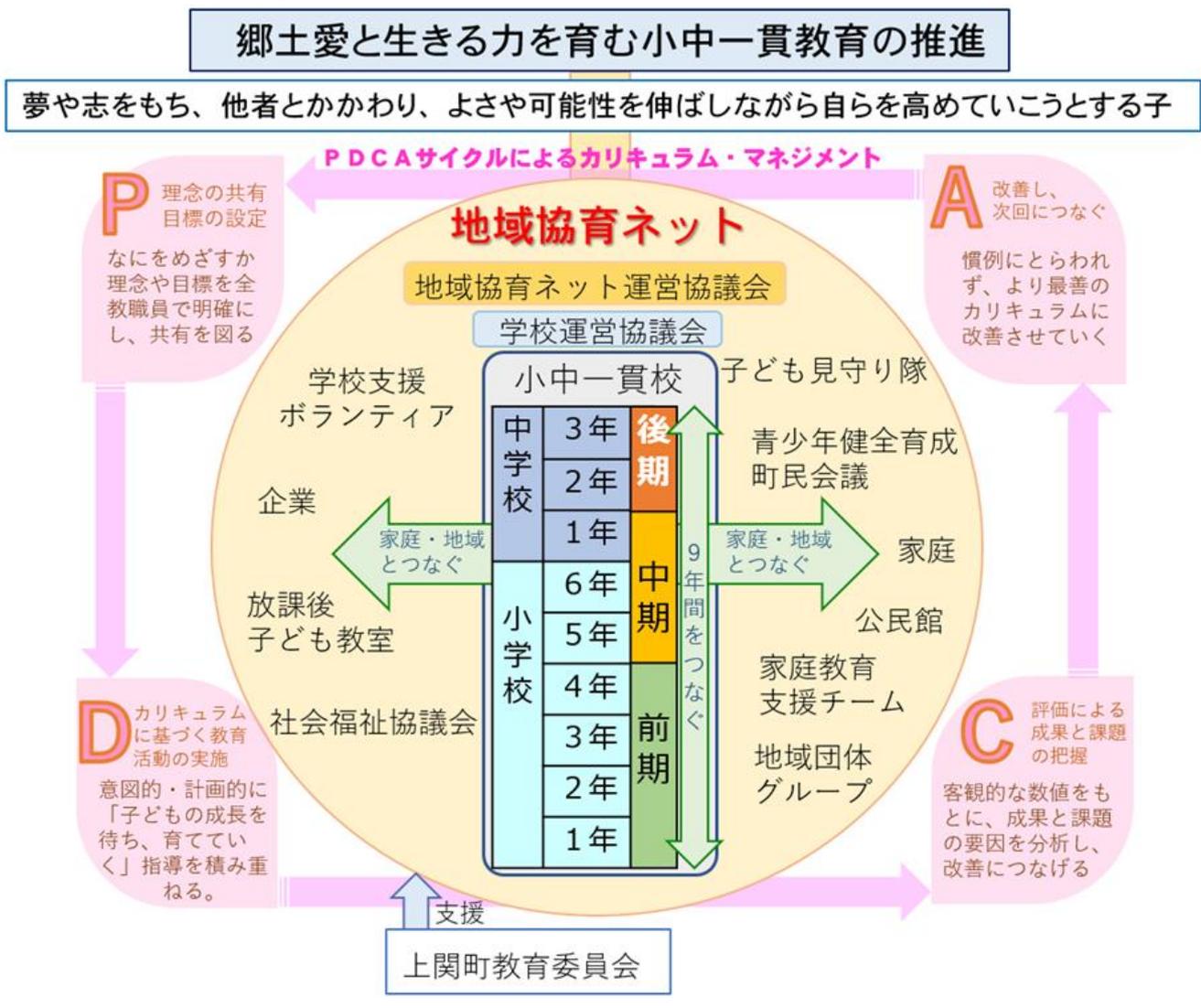
3 小中一貫による4・3・2制

従来の学校は小学校、中学校に分かれる「6・3制」がほとんどを占めていました。その制度の課題の1つに「中1ギャップ」が挙げられています。本町では、小中9年間で「4・3・2制」に分け、子どもたちの発達段階にきめ細やかに対応することでさらに充実した教育が可能となります。これまで上関町では、滑らかな接続である「4・3・2制」をめざしてきましたが、さらに一歩進めた形で行っていく予定です。



4 かみのせき學苑の全体イメージ図

これからの時代、教育は学校だけで行うのではなく、地域全体が一体となって進めていくことが求められています。上関町の教育資源である「ヒト・コト・モノ」が学校教育に含まれることをイメージした図です。



本件についてのお問い合わせは、上関町教育委員会総務係（☎62-0245）まで